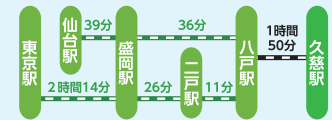




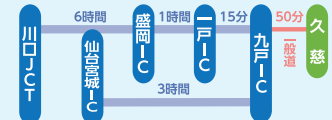
Access

鉄道



- 東京から
東北新幹線→二戸駅→車で20分
- 盛岡市から
車で約60分 (高速道路利用)
- 八戸市から
車で約30分 (高速道路利用)
- 久慈市から
車で約50分

高速道路



九戸村観光協会

岩手県九戸郡九戸村大字伊保内10-11-6
九戸村役場村づくり推進課内 ☎0195-43-3272
URL <http://www.vill.kunohemura.iwate.jp>



九戸村 検索

●発行日/令和6年10月 ●発行/九戸村観光協会

ホッこり九戸さんぽ

KUNOHEMURA





こんにちは、九戸村です。
はじめてお便り申し上げます。

九戸村は、岩手県北部の内陸に位置するちいさな村です。
夏は冷涼な季節風が吹き、冬は雪と氷に包まれるさびしい気候風土。
でも、だからこそ育まれてきたものもあるんですよ。

ミズバショウの白とカタクリの紅紫が描く、
鮮やかなコントラスト。
ヒメボタルが光のファンタジーを奏でれば、
人は祭りで短い夏を楽しみつくす。
山間を吹き降りる風が冷たさを増す頃、
大いちょうが広げる黄金色のじゅうたん。
職人の手から生み出される、
繊細にしてモダンな手しごとの品々。

四季おりおりの風景や、暮らしの知恵。
どれもどこか懐かしく、ぬくもりを宿しています。
ちょうど、村の炉端で語り継がれてきた、ふしぎな昔話のように。

お忙しい毎日をお過ごしのことと思います。
ときには歩調をゆるめて、九戸村に寄っていきませんか。
山の恵みをどっさり用意して、お待ちしております。

敬具

ホッこり九戸さんぽ



- もくじ
- まるごと九戸!道の駅おりつめ オドデ館 …P04
- 九戸のとおき 甘茶&チキン& etc …P06
- まちなかグルメさんぽ …P07
- 家族で気軽にアウトドア/折爪岳周辺 …P08
- 初心者も安心の九戸スキー場 …P09
- 世界に通用するモノづくり …P10
- 歴史と民話の里 …P12
- 祭り・イベント紹介 …P14
- エリアマップ …P15

まずここへ! 幸運の神様が出迎える産直&レストラン

八戸自動車道九戸ICと国道340号線から車で3分。田園の中に建つ道の駅おつめ「オドデ館」は、九戸村の旬が揃う人気スポットです。折爪岳を望むロケーションも魅力。入口では村の民話に登場する守り神『オドデ様』の石像が、旅人を見守ります。



オドデ様のお気に入り!? 九戸のお宝たち



山ぶどうジュース&ワイン

古くから岩手県北部に自生する山ぶどうは鉄分、ポリフェノール、ビタミン、ミネラル豊富。飲みやすく仕上げた無添加・天然果汁100%のジュース&ワインで、より美しく健康に♪



九戸村産100%はちみつ

加糖・加熱処理をせず素材本来の甘みを楽しむ養蜂天然はちみつ。すっきりした甘さのアカシア蜜、サクラやウメが香る春の百花蜜、ほどよい酸味が個性的な山栗蜜を販売。



岩手切炭

木炭生産量日本一の岩手県の中でも九戸村は主力の生産地。厳しい規格審査をクリアした高品質の木炭は火付き・火持ちともに◎でBBQに最適。お部屋では脱臭・調湿効果も発揮。

九戸の民話 オドデの話

昔むかし、若者が折爪の山で働いていると、見たこともない生きものと出会いました。

腰からはフクロウ、下は人間のように、ことばを話します。ほどなく庄屋の家に住みつき、「ドデン、ドデン」と大きな声で鳴くことから『ドデ』と呼ばれるようになりました。

ふしぎな力を持つドデは、明日の天気から人の運勢までピタリと言い当てます。庄屋のもとには人々が詰めかけて供え物をするものだから、庄屋は大金持ちに。

ある日、お金があふれ出る賽銭箱とふんぞり返る庄屋を見たドデは突然「シラン・シラン・ドデン・ドデン」と叫びながら、折爪の森深く飛び去ってしまいました。

以来、ドデの姿を見た人はいません。けれど今でも時おり、近くの森でそれらしい声を聞くことがあるそうです。

そうして、この地方では驚いたことを「ドデンした」と言うようになりました。また予言の力を持つこの怪鳥を『オドデ様』と呼びならわして祀り、村の守り神としましたのです。



九戸チキン

岩手県はブロイラー飼育数全国3位。中でも九戸村の生産量は県内トップクラス。そんなチキン王国。らしく、ビタミンE豊富なブランド鶏「あべどり」を豪快に1キロ売り! レストランではジュシーな若鶏の唐揚げ定食や油淋鶏セット、チキンバスケットなどがいただけます。



南部地方のソウルフード「かけ」

三角に切ったそば・うどん生地を茹で、みそダレにつけて食べる郷土料理「かけ」。昔々、南部藩の殿様が庶民がそばを食べることを禁じたため、しかたなくそばのかけらを三角に切り、みそをつけて食べたことから、そばの「かけら」が訛って「かけ」と呼ばれるようになったとか。生麺のほか、保存がきく乾麺もあります。

おふくろの味が揃う おりつめ工房

焔端で炙った焼きたての串もち、香ばしい匂いもごちそう♡ オドデ館入口横の屋台では、地元の農家のお母さんたちが毎日手作りする田楽豆腐や串もちが大人気。伝統の「豆しとぎ」(米粉と大豆のお菓子)や「きゃばもち」(柏葉餅)をはじめとするお菓子やお惣菜、大豆が香る豆腐などはオドデ館にて販売中です。売り切れ御免!



オドデまんじゅう

オドデ様が目印、シンプルなパッケージをあなごるなかれ。しっとりもちもち食感の黒糖まんじゅうは老若男女問わず愛されることまちがいないし。

山ぶどうソフト

九戸村特産の山ぶどう果汁を使い、酸味さわやか、甘さ控えめの大人な味に仕上げました。山ぶどうの甘酸っぱさとバニラの甘さが絶妙コンビネーション。

オドデ館 住) 九戸村山屋2-28-1
営) 8:00~19:00 休) 1/1~1/2 ☎0195-42-4400



んめえものいっぱい♡
寄ってっけで~!

上品な甘さで低カロリー！甘茶

砂糖の200倍といわれる甘さながら低カロリーでノンカフェインの甘茶は、海外でも人気のハーブティ。全国有数の甘茶産地である九戸村。甘茶あんをパイ生地に包んで焼き上げたおみやげの定番「甘茶でっかぽれ」など、産地ならではの豊富なラインナップが嬉しい。

<http://www.vill.kunohe.iwate.jp/docs/284.html>



右：甘茶 リーフ (30g入)
左：甘茶 ティーパック (1.5g×10包入)



チキン王国・九戸を『オブチキ』でPR

九戸村は、全国ナンバー3の鶏肉生産地である岩手県の中でも屈指の鶏肉産地。九戸村商工会青年部では「キングオブチキン(略して「オブチキ」)プロジェクト」を立ち上げ、オリジナルキャラクターのグッズ販売やイベント出店、動画制作などを通して村の名産をPR。地域を盛り上げています。



頭が鶏、体が人間のオリジナルキャラは古代エジプトの壁画風。オドデ館&まさざね館でTシャツや前掛けなどを購入できます。

公式Facebook
<https://www.facebook.com/kingofchicken28/>

ノンペエを守る!?ほす袋

九戸村では昔から酔って正気を失うことを「ほす(本性)を落とす」と言います。円通寺では「吞兵衛守護」のお守り袋を一つ一つ手作りで製作。オドデ館や円通寺本堂ほかで販売中です。

公式Facebook
<https://www.facebook.com/HOZUBUKURO/>



旅の記念にマンホールカード

シリーズ累計230万枚突破。人気のマンホールカード九戸村版をオドデ館で配布中です。ご当地情報が詰まったレアカードはアンケートに答えてゲット！



南部せんべいに三角形のそば!?…冷涼な気候が産んだ食文化を堪能

南北に細長い村のほぼ中央をメインストリートである国道340号と瀬月内川が縦断する九戸村。村の中心部・伊保内(いぼない)には役場や商店街があり、郷土料理やスイーツを提供する飲食店も点在しています。このエリアでは、懐かしいまちなみとグルメを味わって。



カフェこちゃや

甘茶をはじめ地元産品を使った手作りランチやスイーツ、ブレンドティーを提供するほか、地元クラフト作家の作品も販売。真空管アンプから流れるソウルやジャズが心地いい。
住) 九戸村伊保内7-79-6 営) 11:30～16:00 不定休
☎0195-43-4728
<https://www.facebook.com/cafekochaya/>



お食事処なかつる

契約栽培のそば粉と国産小麦で仕上げたそばをはじめ、丼、定食なんでもござれの和風レストラン。郷土料理「かつっけ」は一度ご賞味あれ。
住) 九戸村伊保内11-26-9 営) 11:30～14:00/17:00～21:00
☎0195-42-4818
<https://naka-tsuru.com/> (ネット予約可)



まちの駅 まさざね館

ほっと一息つける、まちなかのオアシス。特産品やハンドメイド雑貨を買うことができ、休憩スペース、トイレや無料駐車場もあり。
住) 九戸村伊保内11-47-1 営) 9:00～18:00 休) 年末年始 ☎0195-42-2226



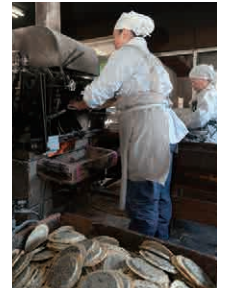
アムール小笠原

お土産で人気の「甘茶でっかぽれ」ほか、地場食材スイーツのバイオニア小笠原菓子舗の系列店。「まちの駅まさざね館」内にあり、季節の和洋菓子をその場でじっくり味わえます。
住) 九戸村伊保内11-47-1 営) 9:00～18:00 休) 毎週日曜日、年末年始 ☎0195-42-2281



大谷煎餅店

昭和30年創業。「南部せんべい」一筋で、生地作りから成形、袋詰めまで昔ながらの手作業で作るせんべいは素朴ながら深い味わい。
住) 九戸村伊保内11-26-7 営) 8:00～18:00 年中無休 ☎0195-42-2414



福助寿司

岩手県北のブランド鶏「あべどり」のガラを使ったラーメンなど、寿司専門店ながらサイドメニューが充実。運が良ければ地元産鶏チャーシュー入り「キングオブチキンラーメン」が食べられるかも？

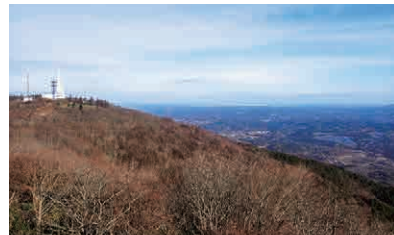
住) 九戸村伊保内3-39 営) 11:30～13:30/休) 日曜日・不定休 ☎0195-42-2552
<https://www.facebook.com/福助寿司-106974257317022/>



気負わず行けて眺望絶景！ヒメボタル住まうトレッキングスポット

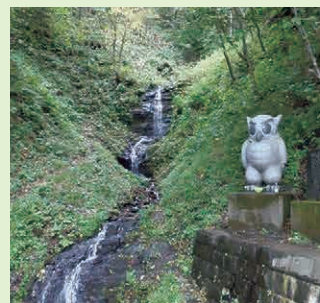


隣接する二戸市・軽米町にまたがる折爪岳は標高852.2m。周囲に高い山がないため、山頂から北東には太平洋、南西には岩手山まで見渡せる絶景が自慢です。山頂付近の展望台までは車で行ける気軽さで、初心者も安心のトレッキングスポットです。



パラグライダーで空中散歩

折爪岳には県内外からパラグライダー愛好家が集まり、空中散歩を楽しんでいます。



折爪五滝

山頂へ向かう林道沿い、「折爪五滝」のマイナスイオンで癒されて♡「オドデさまの滝」に始まり、頂上に向かって「江刺家（えさしか）大滝」「姫侍の滝」「織姫の滝」「清水（おすす）の滝」と続きます。



大自然のイルミネーション 100万匹のヒメボタル

儚くも美しい光を放つホタルの群舞。折爪岳は国内有数のヒメボタルの生息地として岩手県天然記念物に指定（平成30年）され、山頂～中腹では7月上～中旬にかけて100万匹が飛び交い、山は幻想的な光に包まれます。この時期に合わせて、折爪岳振興協議会（九戸村、二戸市、軽米町）では、ヒメボタル保護のために、ホテル観賞において交通規制を実施しております。問）折爪岳振興協議会HP

ナイター完備のファミリーゲレンデ & 人気のパークゴルフ場



最大傾斜20度から30度を超える急斜面まで3つのコースと、そり滑りにおすすめのちびっこゲレンデを備え、家族連れや初心者にもやさしいスキー場。村営のため、リフト券やスキーレンタル・スクール料金がリーズナブルなものも大きな魅力です。休憩と食事ができる「西山荘」のほか入浴施設「ふるさとの湯っこ」や宿泊施設「ふるさとの館」が隣接し、アフタースキーも充実。4月～11月は、大自然に囲まれた起伏ある変化に富んだパークゴルフ場が隣接しており、子どもから大人まで幅広い年代が楽しめます。

村営くのへスキー場 住）九戸村伊保内18-41-6
営）12月下旬～3月上旬頃 9:00～16:00 / 16:00～20:00
（ナイター/木金土曜日） 問）0195-42-2366



起伏に富んだ36ホール くのへパークゴルフ場

ゴルフより短いコースをクラブ1本で回れるパークゴルフは幅広い世代に人気。スキーの傾斜を利用したくのへパークゴルフ場は変化に富んだコース内容です。全4コース36ホール。団体利用の際は事前予約がおすすめです。発効日からシーズン終わりで使えるお得なシーズン券もあり。

住）九戸村伊保内18-91-3
営）8:00～18:00(4月中旬～9月) / 9:00～17:00(10月～11月末)
休)なし 問)0195-42-4001(ふるさとの館)



日帰りなんでもつたいない 入浴&宿泊施設 ふるさとの館・ふるさとの湯っこ

スキー場に隣接する宿泊施設「ふるさとの館」は和室、洋室を備え素泊まり3,500円～。露天風呂・サウナなど数種類のお風呂が楽しめる「ふるさとの湯っこ」では、露天風呂から折爪岳や村の中心街を一望。日帰り入浴ももちろんOK。

住）九戸村伊保内18-91-3
入浴／ふるさとの湯っこ 営）10:00～22:00 年中無休
問）0195-42-4001



ふるさと創造館

村内にあった豪農の民家を移築した古民家です。35畳もの大広間や「いろいろ」や「かまど」「農・民具」などが昔のまま残されており、当時の生活を偲ぶことができます。



風土と職人技が生み出す逸品。掃除が楽しみに変わる箒です。

農家の冬の収入源だった手づくり箒を『南部箒』へと昇華させた(有)高倉工芸。村内の畑で農薬を使わずにホウキモロコシを栽培し、刈り取り・選別・編み上げまで、すべて職人が手作業で行います。

美しく実用性に優れた箒は全国にファンを持ち、最高級品は1本100万円もの値がつくほど。特徴は、穂先の強い縮れです。九戸村に吹く冷たく湿った北東風『やませ』によって生じるもので、この縮れが強力にホコリをキャッチ。

「オドデ館」で一部商品を販売しているほか、工房での箒づくり体験も可能です(要予約)。



【ミニ南部箒づくり体験】

職人から直接レクチュアを受けながら南部箒づくりを体験。予約は1カ月前までに高倉工芸ウェブサイト・メール等から。

【料金】 2,000円/1名
【時間】 約2時間
【期間】 通年
【人数】 少人数から応相談



(有)高倉工芸 住)九戸村戸田9-115
問)0195-43-2826 営)9:00~17:00
<https://nanbuhouki.jp>



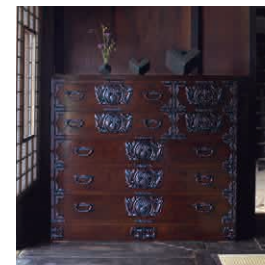
岩手県が誇る日本一の「浄法寺漆」と、職人の伝統技術が融合。

九戸村で75年以上の歴史を重ねる(株)マルイ造形家具工業。指物(さしもの)や摺り漆塗装、手打ち彫金といった日本古来の技術を受け継ぐ職人たちが、伝統家具『南部筆筒』を制作しています。

塗料には質・量ともに日本一の岩手県北特産『浄法寺漆』を主に使用。頑固なまでに品質にこだわります。

また、現代のライフスタイルにも合うよう、中央に炉を据えたテーブル『ダイニング火鉢』など、モダンな家具も展開中。

まずはオドデ館内のショールームで、その上質な仕上がりを体感してみてください。



(株)マルイ造形家具工業

【本社工場】 住)九戸村伊保内11-13
<http://www.marui-zoukei.co.jp>
<https://www.nanbu-tansu.com>



【オドデ館ショールーム】
住)九戸村山屋2-28-1
問)0195-42-4400(オドデ館)
営)8:00~19:00
(※定休日はオドデ館に準ずる)



まさぎね 誇り高さ反逆者・九戸政實の足跡をたずねて

天下統一目前の豊臣秀吉に反旗をひるがえした戦国武将・九戸政實(まさぎね)。秀吉の強引な北東北制圧に反発して九戸城に立てこもり、敵方の兵力65,000に対し、わずか5,000の兵で勇猛果敢に戦ったことで知られています。九戸村は、そんな政實が生まれ育った地。政實ゆかりの史跡が村内に点在しています。



九戸神社

平安時代初期の842年創建。政實ほか九戸一族が代々戦勝を祈願した九戸村の総鎮守。毘沙門天や奉納剣、政實ゆかりの札など村指定文化財が納められています。
住) 九戸村長興寺1-10



政實神社

九戸神社境内に政實神社が建立されたのは1995(平成7)年。信念と誇りを貫いた政實をしのび、その足跡を伝えるため、有志が寄付を募り実現しました。
住) 九戸村長興寺(九戸神社境内)

長興寺と 公孫樹(いちょう)

九戸家代々の菩提寺であった長興寺。境内の大公孫樹(イチョウ)は推定樹齢800年、村指定天然記念物に指定されています。
住) 九戸村長興寺8-33



政實公の首塚

秀吉軍に敗れた政實は三ノ迫(現在の宮城県栗駒市)で打ち首に。首は家臣がひそかに持ち帰り、ふるさどで弔ったとされます。1976(昭和51)年の調査によって場所を特定。
住) 九戸村長興寺1-16



悲劇の武将 九戸政實の生涯

天文5年-天正19年
(1536-1591/享年56歳)

現在の青森県南～岩手県北を統治する南部氏一族・九戸氏の子として、九戸村で誕生。成長し武将として頭角を現すも、後継者選びを発端に本家の南部家と合戦になります。苦戦した南部家側が豊臣秀吉に援軍を頼んだことで、戦は家同士の争いから天下人に抗する「九戸政實の乱」に…。圧倒的な兵力差にもひるまず善戦しましたが、長興寺の薩天和尚に説得され投降。しかし「自らの首と引き換えに仲間を助けたい」という願いもむなしく、政實は斬首、城にいた者はなで切りとされたと伝わります。

中世の営みと民話そのままの自然

「オドデさま」の伝説をはじめ、九戸村には数多くの民話が残ります。平安中期の史跡や江戸時代まで使われた街道が残るなど、古くから人々が集まる地であったことが、その一因かもしれません。民話に登場する自然が今もそのまま残り、往時の雰囲気をしのばせます。

戸井良沢水芭蕉公園



村の南部にあるミズバショウの群生地。4月下旬～5月中旬、小川の清流に沿ってミズバショウとカタクリが可憐な花を咲かせます。GWには「戸井良沢水芭蕉祭り」を開催。
住) 九戸村戸田第10地割

黒山の昔穴遺跡

平安時代後期の集落跡で、岩手県指定史跡。竪穴住居跡からナイフや矢じり、焼き物などが出土し、「蝦夷(えみし)」と呼ばれた東北の人々の暮らしを伝えています。
住) 九戸村江刺家1-41-1



塩の道～赤べこ街道～

種市や待浜で作られた塩や海産物を牛の背に乗せ、円子、伊保内を通って一戸に運んだ交易通路。九戸村山友会では子どもたちの学習登山や個人向けのミニツアーを実施しています。
住) 九戸村伊保内・小倉



熊野館公園

政實の軍事基地だったといわれる場所を、地元住民が公園に整備。標高350mの高台にあり、村の中心部が一望できます。「三本杉」などの巨木は見る人を圧倒し、春にはツツジやカタクリの群生、秋には紅葉が公園内を彩ります。
住) 九戸村伊保内10-38

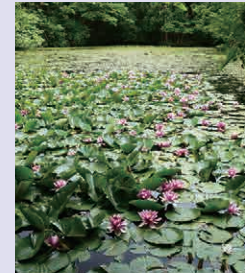
千本松と桂藤



幹囲2m、樹高26mの千本松は枝ぶりが箒のように見えることから別名「ほうき松」。藤と桂と柁木がからみあった桂藤は幹囲10m、樹高41m。どちらも村指定の天然記念物。九戸を訪れたら長興寺の大公孫樹と合わせて「巨木めぐり」を楽しむのもおすすめです。
千本松/住) 九戸村長興寺第8地割
桂藤/住) 九戸村荒谷9-144-1

銚子の雨堤

国道340号から旧道・伊保内通りを東へ進むと「雨堤み」。民話にも登場する秘境の沼で、スイレンの鑑賞地として人気。希少なモリアオガエルの棲息地でもあります。
住) 九戸村長興寺第5地割



九戸村イベントカレンダー

祭りが北東北の短い夏を熱くする!

北東北の春は遅く5月頃から。九戸地域でもイベントが増えますが、中でも「九戸まつり」は村が最も熱く燃える3日間。中心商店街を風流山車が運行するほか、剣舞や流し踊りなど各集落に伝わる郷土芸能が一堂に会します。夜空を焦がす3,000発の花火も見逃せません。3年に一度、戸田神明宮祭典もあわせて開かれます。

戸井良沢水芭蕉祭り

開催日：5月初旬
場所：戸井良沢水芭蕉公園

九戸神社例大祭・九戸さくらまつり

開催日：5月上旬
場所：九戸神社

ヒメボタル観賞期間

開催日：7月中旬
場所：折爪岳

九戸まつり

開催日：8月中旬
場所：九戸村伊保内地区（戸田地区）

畜産まつり

開催日：9月上旬
場所：新岩手農協九戸支所

九戸村産業・芸術文化まつり

開催日：11月上旬
場所：九戸村公民館（HOZホール）
体育センター

九戸村の多彩な神楽

九戸は岩手県の神楽の源流の一つ。村内には旧南部領に伝わる「江刺家神楽」や「九戸神楽」、「瀬月内神楽」が伝わり、獅子頭を持って舞う「権現舞」はじめ多彩な舞が各祭りやイベントで披露されます。また、例年「九戸の山伏神楽祭典」を開催しております。



瀬月内神楽



九戸神楽



江刺家神楽



花火大会/九戸まつり



駒踊り/九戸まつり



九戸神社例大祭・九戸さくらまつり



ヒメボタル観賞



畜産まつり



産業・芸術文化まつり

九戸村観光MAP



折爪五滝
オドテ様の像



道の駅おりつめ オドテ館



熊野館公園



銚子の雨堤



戸井良沢水芭蕉公園

宿泊施設

ふるさとの館

スキー場に隣接。館内には露天風呂を備えた「ふるさとの湯っこ」や和風レストラン「陣羽織」があります。
住) 九戸村伊保内18-91-3
問) 0195-42-4001



旬の味と交流を楽しむ市日

昔から村の中心部で行われてきた市日。毎月7のつく日は伊保内地区の中心商店街で、早朝から軽食やおやつ、鮮魚や野菜などが販売されてにぎわいます。季節ごとに変わる旬の味と、地元の人々とのふれあいが魅力です。
○毎月7・17・27日
早朝～昼頃（店により異なる）

